

九州大学大学院数理学府
平成 29 年度修士課程入学試験
基礎科目問題

注意 • 問題 [1][2][3][4] のすべてに解答せよ.

- 以下 $\mathbb{N} = \{1, 2, 3, \dots\}$ は自然数の全体, \mathbb{Z} は整数の全体, \mathbb{Q} は有理数の全体, \mathbb{R} は実数の全体, \mathbb{C} は複素数の全体を表す.

[1] 定数 $a, b \in \mathbb{R}$ に対して 4 次正方行列 A を

$$A = \begin{pmatrix} a & b & 1 & b \\ 1 & a & b & b \\ b & b & a & 1 \\ b & 1 & b & a \end{pmatrix}$$

とする。以下の問に答えよ。

- (1) A の各行（および各列）の成分の和が等しいことに注意し、 A の行列式を求めよ。また A が正則であるための必要十分条件を a, b を用いて表せ。
- (2) T_A を A によって定まる \mathbb{R}^4 の線形変換、つまり、 $T_A(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ ($\mathbf{x} \in \mathbb{R}^4$) とする。 $a = 1$ のとき、 T_A の核 $\text{Ker}(T_A)$ の次元と一組の基底を求めよ。

[2] 実数列全体を

$$V = \{\mathbf{x} = (x_1, x_2, \dots, x_k, \dots) : x_1, x_2, \dots, x_k, \dots \in \mathbb{R}\}$$

とする. V の元 $\mathbf{x} = (x_1, x_2, \dots, x_k, \dots)$, $\mathbf{y} = (y_1, y_2, \dots, y_k, \dots)$ と $c \in \mathbb{R}$ に対し, 和 $\mathbf{x} + \mathbf{y}$ とスカラー倍 $c\mathbf{x}$ を

$$\begin{aligned}\mathbf{x} + \mathbf{y} &= (x_1 + y_1, x_2 + y_2, \dots, x_k + y_k, \dots) \\ c\mathbf{x} &= (cx_1, cx_2, \dots, cx_k, \dots)\end{aligned}$$

と定めて, V にベクトル空間の構造を入れる.

$a_1, a_2, a_3 \in \mathbb{R}$ に対し, 漸化式

$$(*) \quad x_{n+3} + a_1x_{n+2} + a_2x_{n+1} + a_3x_n = 0 \quad (n = 1, 2, \dots)$$

を満たす実数列 $\mathbf{x} = (x_1, x_2, \dots, x_k, \dots)$ 全体を W とする. 以下の間に答えよ.

(1) W は V の部分空間であることを示せ.

(2) $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2, \mathbf{x}^3 \in W$ を

$$\begin{aligned}\mathbf{x}^1 &= (1, 0, 0, \dots) \\ \mathbf{x}^2 &= (0, 1, 0, \dots) \\ \mathbf{x}^3 &= (0, 0, 1, \dots)\end{aligned}$$

とすると, $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2, \mathbf{x}^3$ は W の基底であることを示せ.

(3) 線形変換 $T: W \rightarrow W$ を

$$T(x_1, x_2, \dots, x_k, x_{k+1}, \dots) = (x_2, x_3, \dots, x_{k+1}, x_{k+2}, \dots)$$

によって定めるとき, 基底 $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2, \mathbf{x}^3$ に関する T の表現行列を求めよ.

(4) 実数 λ が T の固有値であるとき, λ に対する固有空間を λ を用いて表せ.

[3] $\binom{m}{k}$ は二項係数 ${}_mC_k$ を表すものとする． n を自然数とする．以下の間に答えよ．

(1) 広義積分 $\int_0^\infty \frac{dx}{(x^2+1)^{n+1}}$ は収束することを示せ．

(2)

$$\int_0^\infty \frac{dx}{(x^2+1)^{n+1}} = \frac{2n-1}{2n} \int_0^\infty \frac{dx}{(x^2+1)^n}$$

を示せ．また

$$\binom{2n}{n} = \frac{2^{2n+1}}{\pi} \int_0^\infty \frac{dx}{(x^2+1)^{n+1}}$$

を示せ．

(3) 任意の $x \in [0, \frac{\pi}{2}]$ に対し $e^{\frac{1}{2}x^2} \cos x \leq 1$ を示せ．また $\cos^{2n} x \leq e^{-nx^2}$ を示せ．

(4) 次の不等式

$$\binom{2n}{n} \leq \frac{4^n}{\sqrt{\pi n}}$$

を示せ．必要ならば $\int_0^\infty e^{-x^2} dx = \frac{\sqrt{\pi}}{2}$ を用いてよい．

[4] \mathbb{R}^3 の点 P が集合 $S = \{(x, y, z) \in \mathbb{R}^3 : x^2 + 2yz = 1\}$ を動くとき, 点 P と点 $(-2, 1, 1)$ との距離の最小値を求めよ.